

加藤洋之 ピアノリサイタル *Hiroshi Kato, piano*



加藤洋之(ピアノ) Hiroshi Kato, piano

1966年東京生まれ。東京藝術大学附属音楽高校を経て同大学を首席で卒業。学内にて「安宅賞」を受賞。大学院在学中の1990年にジュネーヴ国際音楽コンクール第3位入賞、ハンガリー国立リスト音楽院に留学してイシュトヴァン・ラントシュ氏に師事する。1996年からはドイツ・ケルンに移りパヴェル・ギリロフ氏の下でさらに研鑽を積んだ。これまでにハンガリー国立響、ブダペスト・フィル、ブルガリア国立放送響、スウェーデン・ヘルシンボリ響、ウィーン・モーツァルト室内管、東京都響、日本フィルなど内外のオーケストラと協演する他、ハンガリー国営TV、オーストリア国営放送、スイス・ロマン放送、またウィーン芸術週間、プラハの春音楽祭、ルセ国際音楽祭、リムゼン国際室内楽フェスティバルなどへの出演等、ヨーロッパ各地でソリスト、室内楽奏者として活発な演奏活動を続けている。

ウィーン・フィルのメンバーたちと頻りに室内楽を演奏し、特に第1コンサートマスター(2016)のライナー・キュッヒル氏とは1999年以来、国内外で数多くの共演を重ね、2002年ウィグモア・ホール(ロンドン)でのコンサートは「The Times」紙上で絶賛される。また、2010年にはウィーン・ムジークフェラインザールにて3日間に亘るベートーヴェンの「ピアノとヴァイオリンのためのソナタ」全曲演奏会が開催され大成功を収めた。

2019年にオクタヴィアレコードより初のソロCD「時間から空間へ〜ワグナーへのオマージュ」がリリースされレコード芸術誌で特選盤となる。令和元年度文化庁芸術祭音楽部門「大賞」を受賞。

Hiroshi Kato, piano

Opening performance



安塚かのん (ヴァイオリン) Kanon Yasuzuka, violon

広島なぎさ中学校3年生14歳。広島県よりメープル賞、廿日市よりさくら賞受賞。第22回万里の長城杯国際音楽コンクール弦楽の部 中学部門第一位。国内外で多数受賞。獲得賞金は廿日市市 養護施設や福祉施設に全額寄付を続ける。COCO 舌番カレー創業者 宗次徳二会長より奨学 基金給付奨学生としてヴァイオリンを貸与される。東京芸術大学音楽部早期教育プロジェクト生であり、国際教育助成事業で若手有望ヴァイオリニストに東京国際協会より選出され、スイス国立チューリッヒ芸術大学をはじめ、オーストリア、ドイツ、ルーマニアのヨーロッパ音楽大学で学び、ヴァイオリンを通じ、元気や勇気や希望を届けられるヴァイオリニストを目指して勉強。



中川詩歩 (ソプラノ) Shiho Nakagawa, soprano

エリザベト音楽大学演奏学科声楽専攻および同大学院修士課程修了。パリのエコール・ノルマル音楽院にて最高課程である高等コンサートイスト科ディプロムを審査員満場一致の首席にて取得し卒業。またトゥール地方音楽院や多数のマスタークラスにてバロック声楽を学ぶ。ウィーン、スイス、ベルリン、ルクセンブルク、フランス各地にて著名な教授陣のマスタークラスに参加。第19回大阪国際音楽コンクール歌曲部門 Age-U 部門第2位。第21回九州音楽コンクール声楽一般部門審査員特別賞受賞。国内外でモンテヴェルディ、ペルゴレージ、バッハ、ヘンデル、モーツァルト、メンデルスゾーンなどの教会音楽作品のソロやアンサンブルを数多く行う。これまで、フラワーフェスティバル開会式「花ぐるま」演奏、新進演奏家育成プロジェクトにて広島交響楽団と共演、マツダスタジアムにて国歌斉唱、パリ中央室内楽団と共演。その他欧米、アジアなど世界各地の音楽祭やコンサートに招待され演奏。現在は日本各地で演奏活動や指導を行う。



広島県立加計高校生徒が音楽祭をお手伝いします。

第5回目から加計高校の生徒が司会等音楽祭のお手伝いをしてきました。

今回も、生徒等がスタッフとして当日の音楽祭を盛り上げていきます。

頑張りますので、どうぞ応援ください。

■ アクセス

車：中国自動車道 戸河内I.Cをおりて5分。(広島市内から約40分) 安芸太田町役場の向かい側。駐車場有り。
バス：広島駅、広島バスセンターから定期バスが運行。

～安芸太田町での風景をゆっくり堪能ください～

広島駅 新幹線口/9:45発、バスセンター10:00発 安芸太田町 役場着/11:07
安芸太田町 役場/15:58発 バスセンター/17:03着 広島駅/17:15着